

生徒指導の機能をいかす

ソーシャルスキルトレーニング学習指導案

5年

1 活動名 あたたかい言葉を送ろう

2 指導観

(1) 児童について

5・6年生の算数国庫TTとして、学力向上に向けて取り組んでいる。学年の特徴と実態は多少違うが5・6年生共に明るく元気で、素直な子ども達が多い。しかし中には無気力、自尊感情が低い子ども達もいて、学力・生活面共に2極化の傾向がある。中でも一番気になることは、正しい言葉づかいが使えていないことと言葉足らずで友達とのコミュニケーションがうまくできていないことである。本授業を取り組む5年1組の子ども達も同じ実態である。学習時間以外の日常生活の場において、強い口調でコミュニケーションをとっている姿を時々見かけることがあった。QUアンケートからの実態からも気になる個への対応策を考えることが必要であると感じた。自分の発する言葉が、相手にどのような影響を与えるかに気づく力を育成していくことの大切さを感じるようになった。

(2) 教材について

そのために、「ほめる」・「励ます」・「感謝する」・「心配する」等、優しい言葉かけを状況に応じて使えるようにする活動（ソーシャルスキルトレーニングSST）を学習の中に位置づけていきたいと考えた。このSSTを実践することにより、言葉の荒れや、トラブルの原因にもなっていくボタンのかけ違いを減らし、相手と気持ちをよりよく深めていく力を身につけることは、社会生活をいとむ上で必要であると考えられる。また、規範意識を高めるためにも自己存在感をしっかりと体験できるSSTの学習「あたたかい言葉かけ」は他者とのよりよい関係づくりを深めていく上で意義があると考えられる。

3 活動目標

- あたたかい言葉（感情語）かけの体験を通して、他者との関係を深める。

4 生徒指導の視点に立った活動の工夫

- （自己存在感）感情語を入れて話す体験をグループを通してしっかりやる中で、自分を大切にされるよさを気付かせる。
- （共感的人間関係）振り返りカードで、感想や気付いたことを話させることを通してお互いの考えの良さを認め、日常生活に生かそうとさせる。
- （自己決定）その人の様子+感情語を記入して話すと、受け取る気持ちが変わることを通して、感情語がもっている力を意識させる。

5 本時 平成19年10月15日(月)第5校時 5年1組教室にて

6 本時目標

- 感情語を入れ、気持ちを込めて相手にしっかりとあたたかい言葉かけを伝えることができる。
- 相手の言葉をしっかりと受け止めて、今後の自分の言葉かけをする時に生かすことができる。

7 規範意識を高めるための本時授業の工夫

○規範意識を高める本時の価値

規範意識を高めていくためには、生徒指導での目標である「自己指導力」が育っていないと高めることができない。つまり、自己指導力を基盤にして規範意識も高まっていくと考えられる。そこで、本時学習での活動では自己指導力を育てる3機能の内自己存在感を高める上でとても有効な学習である。なぜなら、学習活動の中で友達からあたたかい言葉のシャワー体験を通して、大切にされている自分の存在を気付く場が設定されているからである。他の2機能についても活動の中に設定されている。共感的人間関係については、グループ活動を意図的に仕組んでいるし、自己決定については、相手に心を込めて伝えるために自分なりに「こんな感情語を入れよう」と決定していく場がある。だから本時学習での規範意識を高める意義は大きいと考えている。

○自己存在感をもたせるための工夫

自己存在感を持たせるために、まず、感情語の入れ方を理解させて、相手が喜ぶように意識して伝えることを工夫していけるようにする。

○評価の工夫

あたたかい言葉かけチェックリストを作り、振り返りの時自分の振り返りと友達からの自分の様子も聞いて記入するように工夫している。

8 本時指導の考え方

始めに、クラスの友達との関係で、あたたかいと感じた行動や、友達から聞いた言葉の中であたたかいと感じた言葉に着目させ、前時の学習を思い出させる。

次に、教師がモデリングする。【モデリング例「みんなの知らないところで、いっぱいやってくれたんだね」という様子から、「ありがとうやお疲れ様」の感情語を入れることを教える】やり方がわかったところで、前の時間に作成したいところさがしカードに

その人の様子+感情語

 という形で記入し、実際にやって感想を数人聞いてみる。

さらに、感情語を記入する時間がない日常会話でも出来るようにグループでリハーサルさせる。その際、規範意識を高める手だてとして自己存在感をしっかりと持たせるために言葉のシャワーの時間を十分とるようにする。

9 準備

- 教師 掲示用紙・いいところさがしカード・ふりかえりカード

11 結果と考察

本活動を終えた後も 1 ヶ月間、挑戦カードにあたたかい言葉かけを続けて記録する活動をやっていった結果、子ども達の感想にもあるように、クラスのほとんどの子ども達が進んであたたかい言葉かけに挑戦できた。「やってよかった」「これからも続けていきたい」等、その後クラスの様子がとてもあたたかい雰囲気になってきている。このようなスキル学習はとても有効であった。

12 資料

「あいてが元気になる聞き方」ふりかえりカード

月 日 名前()

話をきくためのスキル	○・△・×
1 あいてに体をむける	
2 話す人を見る	
3 あいづちをうつ(うなづく)	

今日の感想(楽しかったこと・うれしかったこと・よかったこと)

「あいてが元気になる聞き方」ふりかえりカード

月 日 名前()

話をきくためのスキル	○・△・×
1 あいてに体をむける	
2 話す人を見る	
3 あいづちをうつ(うなづく)	

今日の感想(楽しかったこと・うれしかったこと・よかったこと)
